



優秀賞



治山工事と植樹地の山林内1.5kmに有害鳥獣対策ネットを設置（伊那市モデル事業）



「保育ブロック」による広葉樹の育苗と植樹

# 災害に強い里山づくり



国立大学法人 信州大学農学部「中山間地域プロジェクト」との連携・協力



治山工事が完了した周辺の整備と山林内の倒木除去・支障不要木の伐採



山林内へ作業・巡視路を整備

林野分野

## 未来の子どもたちに災害に強く美しい里山を！

地域活動による治山施設の維持管理と森の強靱化

### 取組概要

災害の発生を契機として、住民自らが「諏訪形区を災害から守る委員会」を組織し、治山事業施工地内での植樹、不要木の伐採、倒木の除去作業等のメンテナンスを行う活動のほか、山地防災・減災や地域活性化など、地域の里山が抱える諸問題に対する幅広い活動。

### 受賞理由

地域住民自らが治山事業地内で植樹及び施設周辺の維持管理を行うことで、治山施設の効果発揮だけでなく、周辺森林の強靱化に寄与していること、またSNS等を活用して活動状況を広く発信している事により波及効果が期待できるとして評価された。

### 取組のポイント

- 植樹に使用する広葉樹の苗木は、根の良好な発達を促す「保育ブロック苗」を住民自らが種子から育成している。これらの苗木を、継続的に治山事業を施工した区域やその周辺に植栽し、将来的に崩れにくい「災害に強い森林づくり」を実践している。

- 活動状況について、インターネットを活用するなどして広く情報を発信している。

【参考】

facebookサイト：[www.facebook.com/inasuwapagata](http://www.facebook.com/inasuwapagata)

YouTubeサイト：[www.youtube.com/inasuwapagata](http://www.youtube.com/inasuwapagata)

### 受賞者について



#### 受賞者

諏訪形区を災害から守る委員会

#### コメント

広大な山林を相手に、目に見える結果が出るのに大変長い年月を要する活動を行っている中、今回このような賞を頂き大変光栄で、心から喜んでいます。地域の環境作りに少しでも貢献できるよう、50年～100年後を見据えてこれからも地道に活動を続けていきます。

#### 団体概要

12年前の平成18年7月豪雨による災害を契機に委員会を立ち上げ、構成員約25名は全員が地元「諏訪形区」の住民で組織されています。メンバーのうち6～7名は一年ごとに交代し、少しでも多くの住民に活動に参加してもらいながら自分たちが暮らす地域里山への理解を深めてもらっています。

#### 問い合わせ先

諏訪形区を災害から守る委員会

副委員長・事務局 酒井 建志

0265-73-3689 / kenshijp@outlook.com